

# 中学歴史プリント（過去問類似）

## 飛鳥時代

名前

得点

/10

**問1** 7世紀後半、日本が白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に敗れた後、九州北部の防衛を強化するために大宰府の北西に築かれた、全長約1.2kmに及ぶ巨大な土塁と堤防からなる防衛施設を何といいますか。 (2024年 北海道公立入試 類似)

1. 水城                                      2. 多賀城                                      3. 壇ノ浦                                      4. 大仙古墳

**問2** 古代の日本が、唐などの中国の国家体制を手本として「律令」を導入した目的や背景を説明したものとして、最も適切なものはどれか。 (2023年 京都公立入試 類似)

1. 地方の有力な豪族に、独自の軍隊と土地支配の権限を公式に認め  
るため                                      2. 天皇を中心とした中央集権的な  
国家体制を築き、国内外に対して  
独立国家としての地位を示すため                                      3. 仏教を国教と定め、寺院が政治  
の全権を握ることで民衆の不满を  
抑えるため                                      4. 武士が領地を支配する権利を法的  
に保障し、幕府による全国支配  
を安定させるため

**問3** 朝鮮半島で高句麗・新羅・百済が勢力を競っていた時代の文化交流について、百済から日本へ仏教が伝えられた主な理由として考えられる、当時の国際情勢を反映した説明はどれですか。 (2023年 福井公立入試 類似)

1. 百済が新羅や高句麗に対抗する  
ため、日本との軍事的・外交的な  
つながりを深めようとした。                                      2. 新羅が仏教を禁止したため、百  
済が周辺国へ仏教を避難させる必  
要があった。                                      3. 高句麗が中国と協力して日本を  
攻撃しようとしたため、百済が日  
本に降伏を勧めた。                                      4. 日本が朝鮮半島全体を支配下に  
置いたため、百済が貢ぎ物として  
仏像を献上した。

**問4** 7世紀後半、皇位継承をめぐる「壬申の乱」という大規模な内乱に勝利し、都を再び飛鳥地方に戻して、天皇を中心とした強力な中央集権国家の土台を築いた人物は誰か。 (2022年 大分県公立入試 類似)

1. 天武天皇                                      2. 天智天皇                                      3. 聖徳太子                                      4. 桓武天皇

**問5** 七百年に大宝律令が制定された目的や歴史的意義として、最も適切な説明はどれですか。 (2020年 新潟県公立入試 類似)

1. 唐の法律を範として、土地と人  
民を国家が直接支配する中央集権  
的な統治体制を確立するため。                                      2. 仏教による国家の安定を図るた  
め、全国に国分寺や国分尼寺を建  
立する制度を整えるため。                                      3. 役人の政治に対する心得を示す  
ために、儒教や仏教の教えを取り  
入れた道徳的な規範を作るため。                                      4. 班田収授法を廃止し、貴族や寺  
社が私有地を持つことを認めて地  
方の混乱を収めるため。

**問6** 法隆寺の五重塔などの伝統的な建築物には、地震の揺れを逃がす仕組みとして「心柱（しんばしら）」という技術が使われています。この心柱の構造を応用し、中心部に鉄筋コンクリート製の筒を配置して制振効果を高めている現代の建造物を選びなさい。 (2020年 徳島公立入試 類似)

1. 東京スカイツリー                                      2. 瀬戸大橋                                      3. 東京都庁舎                                      4. 明石海峡大橋

**問7** 7世紀半ばの朝鮮半島では、高句麗・百済・新羅の3国が勢力を争っていました。このうち、唐と結んで百済や高句麗を相次いで滅ぼし、676年に朝鮮半島を統一した国家はどこですか。また、この国と唐の連合軍が、百済の復興を支援するために送られた日本（倭）の軍を破った戦いの名称として正しい組み合わせを選びなさい。 (2021年 岐阜公立入試 類似)

1. 新羅 - 白村江の戦い                                      2. 高句麗 - 白村江の戦い                                      3. 百済 - 壬申の乱                                      4. 伽耶 - 壬申の乱

**問8** 古代の日本において、大陸から伝来し、天皇の保護を受けて多くの寺院が建立された宗教を何といいますか。この宗教は、当時の国家づくりにおいて、進んだ知識や技術を取り入れる役割も果たしました。 (2017年 長野県公立入試 類似)

1. 仏教                                      2. 儒教                                      3. キリスト教                                      4. 道教

**問9** 607年に小野妹子が隋に派遣された際、持参した国書には「日出づる処の天子、書を日没する処の天子に致す。恙無きや」という趣旨の一文がありました。このような外交姿勢をとった背景にある、当時の日本（倭国）の目的として適切なものを選びなさい。 (2023年 静岡公立入試 類似)

1. 中国に対して臣下としての礼を  
尽くし、国王としての称号と金印  
を授かること                                      2. 中国の皇帝に軍事的な従属を誓  
うことで、朝鮮半島への出兵を支  
援してもらうこと                                      3. 中国と対等な立場での外交関係  
を築きつつ、高度な政治制度や文  
化を取り入れること                                      4. 中国の領土の一部を譲り受ける  
代わりに、日本の特産品を朝貢品  
として献上すること

**問10** 645年に中大兄皇子と中臣鎌足らが、有力豪族であった蘇我氏を倒して始めた、天皇中心の国づくりを目指す一連の政治改革を何と呼びますか。 (2017年 和歌山公立入試 類似)

1. 大化の改新                                      2. 建武の新政                                      3. 明治維新                                      4. 承久の乱

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 水城	663年の白村江の戦いで大敗した倭（日本）は、唐や新羅が日本列島へ侵攻してくることを強く警戒しました。そのため、天智天皇（中大兄皇子）は九州北部の外交・軍事の拠点であった大宰府を保護するため、福岡平野の最も狭まった場所に巨大な土塁を築き、その外側に水を貯えた「水城」を建設して防衛線を整えました。
問2	<b>答え 2</b> 天皇を中心とした中央集権的な国家体制を築き、国内外に対して独立国家としての地位を示すため	当時の東アジア情勢の中で、日本が統一された文明国家であることを示す必要がありました。律令を導入することで、土地と人民を国家の管理下に置く（公地公民）仕組みを作り、戸籍の作成や租・庸・調といった税制を確立させ、天皇に権力を集中させる国家体制の構築を目的としました。
問3	<b>答え 1</b> 百済が新羅や高句麗に対抗するため、日本との軍事的・外交的なつながりを深めようとした。	6世紀の朝鮮半島では、高句麗、新羅、百済の三つの国が激しく対立していました。百済は軍事的に有利な立場を築くため、日本との友好関係を重視しました。そのため、当時の先進文化であった仏教を日本へ伝えることで、外交的な信頼関係を築き、日本からの支援を得ようとする意図があったと考えられています。
問4	<b>答え 1</b> 天武天皇	中大兄皇子（天智天皇）の死後、その息子である大友皇子と、天智天皇の弟である大海人皇子が皇位をめぐる争ったのが壬申の乱です。これに勝利して即位した大海人皇子が天武天皇です。天武天皇は、豪族の影響を抑えて天皇に権力を集中させる政治を推し進めました。
問5	<b>答え 1</b> 唐の法律を範として、土地と人民を国家が直接支配する中央集権的な統治体制を確立するため。	大宝律令の制定により、公地公民の原則に基づいた税制や地方統治の仕組みが法的に整備されました。これにより、日本は法に基づく本格的な律令国家としての形を整え、唐のような強力な中央集権体制を目指しました。
問6	<b>答え 1</b> 東京スカイツリー	五重塔の内部には中心を貫く独立した「心柱」があり、各層と固定されていないために地震の際に揺れを相殺する役割を果たしています。この古代からの知恵は、高さ634メートルを誇る東京スカイツリーの設計において「心柱制振」という最新技術として活用されており、歴史的な伝統技術が現代の先端建築の安全性を支える貴重な事例となっています。
問7	<b>答え 1</b> 新羅 - 白村江の戦い	7世紀、朝鮮半島南東部にあった新羅は、中国の唐と同盟を結びました。この連合軍は660年に百済を、668年に高句麗を滅ぼしました。日本は友好関係にあった百済を再興させるため、663年に朝鮮半島の白村江（はくすきのえ）へ大軍を送りましたが、唐・新羅の連合軍に大敗しました。その後、新羅は唐の勢力も退けて朝鮮半島を統一しました。
問8	<b>答え 1</b> 仏教	6世紀に大陸（朝鮮半島の百済など）から伝えられた仏教は、単なる信仰の対象としてだけでなく、文字（漢字）や建築技術、医学といった先進的な文明を日本にもたらす窓口となりました。聖徳太子（厩戸王）や後の聖武天皇などは、仏教の力を利用して天皇を中心とする国家体制の維持や安定を図ろうとしました。選択肢にある儒教も大陸から伝わりましたが、寺院を建立して国家の保護を受けた点において仏教がより適しています。
問9	<b>答え 3</b> 中国と対等な立場での外交関係を築きつつ、高度な政治制度や文化を取り入れること	聖徳太子は、当時の中国の皇帝（煬帝）に対して対等な立場で国書を送りました。これは、これまでの中国に従う形式の外交ではなく、日本が独立した国家であることを示しながら、最新の政治体制（律令など）や仏教を主体的に学び、国内の権威を高める狙いがありました。この姿勢は隋側を驚かせましたが、当時の東アジア情勢も影響し、交流は継続されました。
問10	<b>答え 1</b> 大化の改新	蘇我氏による権力の独占を打破し、唐の制度を参考にしながら天皇が全国を直接支配する仕組みを整えようとした改革です。この時期には日本で初めて「大化」という年号が使われ、公地公民の制などが打ち出されました。中大兄皇子は後に天智天皇として即位し、律令国家の基礎を固めました。